

広島防災学団

Hiroshima Bosai Gakudan

広島防災学団 代表 松原健太郎



概要

広島防災学団の軌跡

- ・ 2021年に落合小学校で行われた防災学習を発端に2022年夏に活動を開始
- ・ 2022年12月の防災士試験に団員4人が合格
- ・ 2023年にも団員5人が防災士試験に合格
- ・ 2024年に団員数14人に。ほとんどが防災士の学生団体に。
- ・ 落合学区自主防災連合会と連携して活動をしている。
- ・ 広島市防災士ネットワークとも活動している。

落合小学校の防災教育

～自主防災会と広島防災士ネットワークによる～

- ・ 広島市立落合小学校では特色のある防災教育が行われている。
- ・ 総合学習の時間約40時間を使って防災学習をしている。
 - 防災基本講座
 - 災害エスノグラフィー
 - まち歩き
 - 避難所運営体験
 - 防災マップ
 - 非常持ち出し袋作成
 - 備蓄倉庫の確認
 - 学習発表会
 - 起震車体験
 - などなど



広島防災学団の目的

モットーは「ゆる～く防災を発信、地域防災における次世代への橋渡しに！」

- ・ 広島市は非常に災害の多い地域である。2016年の8.20豪雨災害などの大規模災害を経て、防災教育を受けた私たちは「長期的な防災が必要になってきているのに、地域の防災の担い手はお年寄りばかりではないか」ということに気づいた。
- ・ その中で若い世代が自分たちの防災を進める重要性を発信し、私たちが生きていく広島というマチを守っていこうとしている。
- ・ 「ゆる～く防災を発信、地域防災における次世代への橋渡しに！」を大切に、若い世代を取り込んでいく。

広島防災学団の活動

- ・ 国際的な防災の発信
- ・ 防災イベントへの参加
- ・ 消防の学習
- ・ メディアへの出演
- ・ 地域の防災訓練への参加
- ・ 避難所の運営

etc.

